別記様式第３号の２様式（第３条関係）

工　事　監　理　結　果　報　告　書

　建築基準法施行細則第３条第４項の規定により、下記のとおり報告します。

この報告書に記載の事項は、事実に相違ありません。

年　　月　　日

石川県建築主事　殿

報告者（工事監理者）

　住所

　氏名

　　（　）級建築士（　　）登録第　　　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　所属　（　）級建築士事務所（　　）登録　第　　　　号

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　電話番号

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 1 建　築　主  住所・氏名 | 電話番号 | | | | | |
| 2 建築場所 |  | | | | | |
| 3 設　計　者  住所・氏名 | （　　　）級建築士（　　　　　　　　　）登録第　　　　　　号  （　　　）級建築士事務所（　　　　　　）登録第　　　　　　号 | | | | | |
| 4 工事施工者  住所・氏名 | 建設業の許可（　　　　　　）登録第　　　　　　　号 | | | | | |
| 5 確認の年月日  　 番号 | 年　　　　月　　　　日  第　　　　　　　　　　　号 | | | | | |
| 6 建築物の概要 | 敷地  面積 | ㎡ | 建築  面積 | ㎡ | 延べ  面積 | ㎡ |
| 階数 | 地上　　　　階  地下　　　　階 | 主要  用途 |  | 構造 |  |

備考

　この報告書には、工事別及び工種別に工事監理の状況について記載した図書又は書面を添付してください。

１　地業

|  |  |
| --- | --- |
| 地業の種類  参考様式 | 砂・砂利・割ぐり・玉石・コンクリートがら・いかだ・杭・地盤改良  その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |

２　コンクリート工事

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| かぶり厚さの  最小値・  配筋検査状況 | | 部　　位 | | | 土に接しない部分 | | | | 土に接する部分 | | | |
| 基　　礎  配筋状況 | | |  | | | |  | | | |
| 柱  配筋状況 | | |  | | | |  | | | |
| 梁  配筋状況 | | |  | | | |  | | | |
| 床　板  配筋状況 | | |  | | | |  | | | |
| 屋 根 板  配筋状況 | | |  | | | |  | | | |
| 耐 力 壁  配筋状況 | | |  | | | |  | | | |
| 非耐力壁  配筋状況 | | |  | | | |  | | | |
| レディーミクスト  コンクリート | | | 製造会社又は工場名（ＪＩＳ認定・その他） | | | | | | | | | |
|  | | | | | | | | | |
| 打　込　結　果 | 打込箇所 | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 打込年月日 | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| コンクリートの種類 | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 設計基準強度（N／mm2） | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 呼び強度（N／mm2） | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| スランプ（ｃｍ） | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 空気量（％） | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 圧縮強度（N／mm2） | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 試験所名 | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 塩化物量測定結果 | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 養生方法  型枠存置期間 | | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| 仕上がり品質  じゃんか、空洞の有無  処置方法 | | | |  | |  |  |  | |  |  |  |
| （注）圧縮強度：現場水中養生供試体圧縮強度又はコアー供試体圧縮強度（５６建告１１０２号） | | | | | | | | | | | | |

３　鉄骨工事

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 工場における鉄骨  加工の状況 | 溶接継目の部位  鋼材の種類及び  作業方法 | 部　　位 | | 鋼材の種類 | 令第９２条に示す作業方法 | |
|  | |  |  | |
| 鉄骨加工工場  住所・名称  認定番号 | TEL | | | | |
| 鉄骨加工の状況 |  | | | | |
| 工場における鉄骨  溶接加工に関する  検査結果 | 検査を行った者  の住所・氏名 |  | | | | |
| 検査結果の概要 |  | | | | |
| 工事現場における検査の状況 |  | 検査項目 | 検査方法 | | | 検査結果 |
| 柱脚部及び建て  方工事 |  |  | | |  |
| 溶接工事 |  |  | | |  |
| ボルト工事 |  |  | | |  |
| その他 |  |  | | |  |

４　木造又は木工事

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 項　　　目 | 内　　　　　　　　　　　　　　　容 |
| アンカーボルト等 | アンカーボルト | 径　　　：  埋込長さ：  防　　錆：  首 の 出：  座　　金： |
| 換気口 | 間隔　：  サイズ：　　　　　　　　　　　　　有効面積： |
| 軸　　　　　　　　　　　　　　　　　組 | 土　　　台 | ・使用材種  ・使用土台断面寸法  ・継手 |
| 柱 | ・使用材種  ・使用柱断面寸法  　　通柱  　　管柱  ・仕口  ・接合部の補強金物の名称  　　土台と柱 |
| 耐　力　壁 | ・使用材料名　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・使用材料寸法　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  （厚　　　　mm×幅　　　　　mm×長　　　　　mm）  ・接合部のくぎ又は補強金物の名称  　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・くぎの間隔　　（外周部　　　　　　mm、中間部　　　　　　　mm）  ・防腐措置の部位（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・防腐措置の方法（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 床　　　　　　　　　組 | は　　　り  胴　差　し  け　　　た | ・使用材種　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・使用されたはりの断面寸法  　　　　　　　　　　　　最小（cm）　　　　最大（cm）  　　はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  ・はりの継手  ・接合部の補強金物名称  　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 大　　　引  根　　　太 | ・使用材種　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・使用された大引の断面寸法（　　　　cm×　　　　cm）  ・使用された根太の断面寸法  　　大引間隔０．９ｍ内外　（　　　　cm×　　　　cm）  　　大引間隔１．８ｍ内外　（　　　　cm×　　　　cm）  ・根太間隔  　　和室（　　　　cm）  　　洋室（　　　　cm） |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 項　　　目 | 内　　　　　　　　　　　　　　　容 |
| 小　　　屋　　　組 | 小 屋 ば り | ・使用材種　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・使用された小屋ばりの断面寸法  　　　　　　　　　　　　最小（cm）　　　　最大（cm）  　　はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  はり間　　　　ｍ（　　　×　　　）（　　　×　　　）  ・小屋ばり仕口　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・接合部の補強金物名称  　　　　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| む　な　木  　も　　　や  　た　る　木 | ・使用材種　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・使用されたむな木の断面寸法　（　　　　cm×　　　　cm）  ・使用されたもやの断面寸法　　（　　　　cm×　　　　cm）  ・使用されたたる木の断面寸法　（　　　　cm×　　　　cm）  ・たる木間隔　（　　　　cm） |
| 屋　　　根 | 下　　　地 | ・使用した野地板種類　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・　〃　　　〃　厚さ　（　　　　　　mm）  ・葺下地種類　　　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・　〃　厚さ　　　　　（　　　　　　mm）  ・　〃　重ね　　　　　（　　　　　　mm） |
| 葺　　　材 | ・使用した葺材名　　　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）  ・金属製屋根葺材の板厚（　　　　　　mm） |
| 屋　根 | 葺　　　材 | ・留め付け用亜鉛メッキくぎ長さ（　　　　　　mm）  ・屋根勾配　　（　　　／　　　） |
| 錺　工　事 | ・すて谷鉄板の立上り寸法（　　　　　　cm）  ・　　〃　　　〃　　厚さ（　　　　　　mm） |

５　枠組壁工法

（１）必要壁量計算

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 床面積による必要壁量 | | | 見付面積による必要壁量 | | | | | （ト）  （ハ）と（ヘ）の  大きい方必要壁量  （cm） | |
|  | | （イ）  床　面　積  （㎡） | （ロ）　（注１）  屋根材の種類及び積雪量による係数（cm／㎡） | （ハ）＝（イ）－（ロ）  耐力壁の長さ  （cm） | （ニ）　　　（注２）  壁の見付面積（㎡） | | （ホ）  風の強さによる区域別の係数  （cm／㎡） | （ヘ）＝（ニ）×（ホ） | |
| 梁間方向 | 桁行方向 | 梁間方向 | 桁行方向 | 梁間方向 | 桁行方向 |
| 平屋建 | |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２階建 | １階 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２階 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ３階建 | １階 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| ２階 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

（注１）垂直最深積雪量を屋根勾配又は雪おろしの慣習により低減した場合は、その説明書を添付すること。

（注２）見付面積とは、その階の床面からの高さ１．３５ｍ以下の部分を除いたものとすること。

（２）必要壁量計算表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 建築物  の  階数 | 階 | 耐　　力　　壁　　の　　種　　類  （注２） | | 倍　　　　　　　　　　率  （注３） | | 張　り　間　方　向 | | け　た　行　方　向 | |
| 長さ（cm） | 有効壁量（cm） | 長さ（cm） | 有効壁量（cm） |
| 平  屋  建  ・  ２  階  建  ・  ３  階  建 | １  階 | （１） | 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） | （イ） | （ロ（ | （ハ）＝（イ）×（ロ） | （ニ） | （ホ）＝（イ）×（ニ） |
| 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |
| 筋かい　　　　（ある・ない） | （　　　　　　　） |
| （２） | 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |
| 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |
| 筋かい　　　　（ある・ない） | （　　　　　　　） |
| （３） | 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |
| 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |
| 筋かい　　　　（ある・ない） | （　　　　　　　） |
| 有効壁量の合計 | | － | － | － |  | － |  |
| ２  階 | （１） | 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |
| 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |
| 筋かい　　　　（ある・ない） | （　　　　　　　） |
| （２） | 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |
| 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |
| 筋かい　　　　（ある・ない） | （　　　　　　　） |
| （３） | 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |  |  |  |  |  |
| 厚さ　　　　mmの（　　　） | （　　　　　　　） |
| 筋かい　　　　（ある・ない） | （　　　　　　　） |
| 有効壁量の合計 | | － | － | － |  | － |  |

1. 該当するものを○印で囲むこと。
2. （ ）内には、片側壁面に打ちつける壁材の名称を記入し、筋かいにあっては、該当するものを○印で囲むこと。
3. （ ）内には、片側ずつの倍率及び筋かいがある場合の倍率（０．５）を記入すること。

（３）主要部材表

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 種　別 | | 主　要　使　用　箇　所 | | 寸　　法　　形　　式　　（　　呼　　名　　）　　等　　　　　　　　　（注１） | | | | | | 材　　料　　の　　規　　格　　　　　（注２） |
| 枠  組  材 | | 土　　　　　　　　　台 | | ２０４ | ２０６ | ２０８ |  |  | ４０４ |  |
| 床 | 床根太  端根太  側根太 |  | ２０６ | ２０８ | ２１０ | ２１２ |  |  |
| 小屋  (注３) | 天井根太  垂木 | ２０４ | ２０６ | ２０８ | ２１０ | ２１２ |  |  |
| 耐  力  壁 | たて枠  上枠  下枠 | ２０４ | ２０６ | ２０８ |  |  | ４０４ |  |
| 床  材  ・  屋  根  下  地  ・  壁  材 | | 床  材 | 構造用合板  パーティクルボード | 厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ  厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ | | | サイズ　　　　　　　×  サイズ　　　　　　　× | | |  |
| 屋根  下地 | 構造用合板  パーティクルボード | 厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ  厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ | | | サイズ　　　　　　　×  サイズ　　　　　　　× | | |  |
| 耐  力  壁  の  壁  材 |  | 厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ  厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ  厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ  厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ  厚さ　　　　　　　　　　　　　　　ｍ／ｍ | | | サイズ　　　　　　　×  サイズ　　　　　　　×  サイズ　　　　　　　×  サイズ　　　　　　　×  サイズ　　　　　　　× | | |  |
| 大  臣  認  定 | 材  料 |  |  |  | | | | | |  |

1. 寸法形式については、該当するものを○印で囲むこと。
2. 材料の規格の記入例：甲種枠組材（２級）ＪＩＳＡ５９０７の４５０
3. 小屋にトラスを用いた場合には、トラスの構造耐力上の安全性を説明した書類を添付すること。ただし、住宅金融公庫「枠組工法共通仕様書」による場合は、この限りでない。

（４）部材別最大支持スパン、ピッチ表

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 部　　　　材 | 最大支持スパン（cm） | ピッチ（間隔）（cm） | 備　　　　　　考 |
| １ 階 床 根 太 |  |  |  |
| ２ 階 床 根 太 |  |  |  |
| ３ 階 床 根 太 |  |  |  |
| 天　井　根　太 |  |  |  |
| 垂　　　　　木 |  |  |  |
| た　　て　　枠 |  |  |  |

（５）チェックリスト

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 工  種 | 構　造  区　分 | チェック項目 | 備考 | 適否 |
| 枠  組  工  事 | 布基礎 | ・位置、大きさ  ・鉄筋コンクリート造か否か  ・天端の高さ  ・フーチングの大きさ | 幅12cm以上（３階建は15cm以上）  ３階建　軟弱地盤の区域の場合地盤面から30cm以上  ３階建の場合必要  幅45cm以上　厚さ15cm以上 |  |
| アンカーボルト | ・径、長さ  ・間隔、配置 | 径12mm以上　長さ35cm以上  間隔2m以下　配置隅角部  継手部  　３階建は開口部の両端  　から15cm以内の部分等 |  |
| 換気孔 | ・間隔、大きさ | 間隔5m以下　大きさ300c㎡以上 |  |
| 枠  組  工  事 | 土　台 | ・防腐処理がなされているか  ・土台と布基礎との防水紙  ・土台とアンカーボルトとの締めつけ |  |  |
| 床 | ・端根太と床根太、側根太との釘打ち  ・床根太と土台、頭つなぎとの釘打ち  ・端根太又は側根太と土台又は頭つなぎとの釘打ち  ・床の枠組と床材との釘打ち  ・床材の厚さ、配置  ・床根太の間隔  ・ころび止めの間隔、釘打ち  ・開口部の補強方法  ・耐力壁等の直下に耐力壁を設けない場合の補強方法 | CN90 ３本  CN75 ２本又はCN65 ３本  CN75間隔50cm以下  （３階建の１階はCN75間隔25cm以下）  CN50 外周部間隔15cm以下  その他間隔20cm以下  合板12mm以上  パーティクル15mm以上  50cm以下  3m以下ごと |  |
| 耐力壁 | ・３階建の３階部分の構造方法  ・たて枠と上枠、下枠との釘打ち  ・下枠と床枠組との釘打ち  ・上枠と頭つなぎとの釘打ち  ・たて枠とたて枠まぐさ受けとの釘打ち  ・下枠たて枠上枠と筋かいとの釘打ち  ・　壁の枠組と構造用合板、パーティクルボード、ハードボード、硬質木片セメント板、ラスシートとの釘打ち壁の枠組と石こうボード、パルプセメント板との釘打ち  壁の枠組とシージングボードとの釘打ち  　　壁の枠組とフレキシブル板、石綿パーライト板、石綿けい酸カルシウム板、炭酸マグネシウム板との釘打ち  　　壁の枠組と製材との釘打ち | CN90 ２本、CN75 ３本、CN65 ４本  CN90間隔50cm以下  （３階建の１階はCN90間隔25cm以下）  CN90 間隔50cm以下  CN75 間隔30cm以下  CN65 各２本  CN50 外周部間隔 10cm以下その他間隔 20cm以下  GN40、SFN45　同上  SN40　　　　 同上  GN40、SFN45　外周部間隔15cm以下、その他間隔30cm以下  CN50 各２本 |  |
| 工  種 | 構　造  区　分 | チェック項目 | 備考 | 適否 |
| 枠  組  工  事 | 耐力壁 | ・壁材の厚さ  ・たて枠の間隔  ・隅角部、交さ部のたて枠  ・金物が正しく使用されているか  ・両面開口を設ける場合の交さ部分の補強方法  ・開口部の補強方法  ・地階の壁の構造方法 | ３本以上 |  |
| 小  屋  組  工  事 | 小　屋 | ・垂木と天井根太との釘打ち  ・垂木とむなぎとの釘打ち  ・垂木、天井根太、トラスと頭つなぎとの釘打ち  ・垂木、トラスと構造用合板、パーティクルボードとの釘打ち  ・屋根下地の厚さ、配置  ・垂木の間隔  ・垂木つなぎの配置  ・振れ止めの配置  ・金物が正しく使用されているか  ・開口部の補強方法 | CN90 ３本、CN75 ５本  CN75 ３本  CN75 ３本、CN65 ３本  CN50 外周部間隔15cm以下  その他間隔30cm以下  合板9mm以上  パーティクル12mm以上  50cm以下 |  |

６　シックハウス対策

（１）内装仕上げ

内装仕上げの区画別概要

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 番号 |  | | 階 | |  | | 換気回数（回／ｈ） | |  | | ・住宅等の居室  ・住宅等の居室以外の居室 | | |
| 室　　名 | | 床面積（㎡） | | 仕上げの  部分 | | 種　　別 | | 使用した材料 | | 係数Ｎ | | 使用面積Ｓ  （㎡） | 使用面積合計  Ｎ×Ｓ（㎡） |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
|  | |  | |  | |  | |  | |  | |  |  |
| 合　　計 | |  | |  | | | | | | | | |  |
|  | | | | | | | | | | | | 判　定 |  |

（注１）　当該面は区画毎に作成すること。

（注２）　住宅等の居室、住宅等の居室以外の居室の別に○印を記入すること。

（注３）　種別の欄には平成15年国土交通省告示第1113号に規定するＦ☆☆、第1114号に規定するＦ☆☆☆、第1115号に規定するＦ☆☆☆☆、大臣認定、または規制対象外の別を記入すること。

（注４）　換気回数の欄には当該区画に設置する機械換気設備の換気回数を記入すること。

（注５）　係数の欄には令第20条の7第1項第2号の表（1）、（2）の数値を記入すること。

（２）換気設備の設置

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 項　目 | 確　認　事　項 | 適否 |
| 換気設備機器 | ・形状・寸法・規格・性能・数量が確認図書と同一であることの確認 |  |
| 換気経路 | ・換気経路が確認図書と同一であることの確認（換気ガラリ、アンダーカット等） |  |
| ・ダクトの配置が設計図書と同一であることの確認 |  |
| その他 |  |  |

（３）天井裏等の措置

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 措置の種別 | 確　認　事　項 | 適否 |
| 建築材料による措置 | ・仕上げ材料の種類が確認図書と同一であることの確認（Ｆ☆☆☆以上） |  |
| 換気設備による措置 | ・形状・寸法・規格・性能・数量が確認図書と同一であることの確認 |  |
| ・ダクトの配置が設計図書と同一であることの確認 |  |
| 区画による措置 | ・気密層又は通気止めが設計図書と同一であることの確認 |  |
| その他 |  |  |